

**令和7年度**

**運営に関する計画（最終評価）**

**大阪市立今里幼稚園**

**令和8年2月**

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 明るく、素直な子どもたちが多い。2クラスの小規模園であり、異年齢の子どもの名前も覚えて一緒に遊ぶ姿が見られる。異年齢の友達と一緒に関わる中で、豊かな感性や人と関わる力、思いやりの気持ちなどを育てていきたい。
- 本園は地域との関わりが盛んであり、温かく見守っていただいている。昨年度は、地域行事にも参加することができ、地域とのつながりを深めることができた。
- 園の立地条件から、園庭で存分に体を動かして遊ぶことが難しい。このことから、園庭だけでなく、遊戯室、屋上の環境を工夫して活用し、子どもたちが体を存分に動かして遊べるような活動を今年度も考えていきたい。
- かいたり、つくったりすることを楽しむ子どもが多いが、中にはどうしたらいいのかと悩んだり、汚れることを嫌がったりして取り組むことに消極的な子どももいる。それぞれが、自分の思いを出して、かいたり、つくったりすることを楽しめる活動内容を考えていきたい。

### 中期目標

#### 【 安全・安心な教育の推進 】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は、自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」という項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

#### 【 未来を切り拓く学力・体力の向上 】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は、様々な活動を通して友達と意思を出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

#### 【 学びを支える教育環境の充実 】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は、地域や小学校との交流や連携に

「努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【 安全・安心な教育の推進 】

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

### 【 未来を切り拓く学力・体力の向上 】

- 本年度の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

### 【 学びを支える教育環境の充実 】

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

- ・一年を通し、子どもが幼稚園で安心、安全に生活できるように、教職員全員で連携をとり、一人一人の子どもの実態把握に努め、環境構成や指導方法を工夫してきた。園児数が少ないこともあり、いろいろな人と関わることができるように、異年齢交流を意識した保育も行った。年齢に関係なく、楽しんで遊ぶ姿が見られるようになった。また、地域の施設を活用し、地域行事にも多く参加させていただいたことで、子どもたちが地域の一員であることも感じる事ができた。
- ・幼稚園内だけでなく、様々な場所で体を動かすことを楽しめるように保育を行ってきたことで、子ども自身が安全に気を付けながら遊んだり、行動したりするようになった。
- ・日頃から子どもの様子をよく見て教職員間で伝達し合い、必要な指導についてその都度考え、保護者にも取り組みを丁寧に伝えてきたことで、保護者アンケートでは、昨年度に引き続き肯定的な評価を得ることができた。

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向① 安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、計画的に避難訓練を行い、災害時等での安全な身の守り方についての意識がもてるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な災害時の避難訓練を年10回以上行う。</li> <li>・年3回以上、地域や保護者と連携した防災の取組や保護者啓発を行う。</li> </ul>	A
<p>取組内容②【基本的な方向② 豊かな心の育成】</p> <p>子どもの実態を把握し、互いの良さを認め合える指導方法を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の子どもの様子を教職員間で情報共有する。</li> <li>・学期に1回以上、園内委員会を実施し、子どもの実態把握や支援方法を共通理解する。</li> </ul>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 本年度3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は、自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答した保護者の割合は100%となった。
- ①1年を通して、段階を踏んで避難訓練を計画的に実施した。最終的には教職員にも実施日時を知らせずに、突然非常ベルを鳴らして避難訓練を行った。教職員も非常時を常に意識して保育を行うとともに、子ども自身も自分で自分の身を守るための行動が身につけていることが分かった。

**【火災時】**

	実施内容
4月	4歳児は非常ベルを聞いて、5歳児の避難する様子を見学 5歳児は事前確認(避難時の約束)、事前予告(実施時間を伝える)を行い、昨年度の経験を生かして避難
5月	4歳児、5歳児一緒に避難(事前確認、事前予告あり)
7月	子どもへの事前確認のみ行い、事前予告はなし 保育室で子どもたちが活動中に実施
10月	子どもへの事前確認のみ行い、事前予告はなし 子どもが園庭や廊下、園庭など好きな遊びをしている時に実施

1 2月	子どもへの事前確認なし、事前予告はなし 教職員も実施時間を把握していない状態で実施
2月	子どもも教職員も事前確認、事前予告なしで実施
2月	一時預かり事業参加の子どもたちの避難訓練

#### 【地震時・引き渡し訓練】

	実施内容
6月	保護者への引き渡し訓練を実施 (一時預かり事業に参加の子どもも、一時預かり事業終了時に実施)
9月	子どもへの事前確認、事前予告を行い実施 園庭に1次避難をした後、津波を想定し屋上まで2次避難
1 1月	4歳児が880万人訓練に参加 地域から流れてくる放送や、携帯の通知音を聞く (5歳児は大阪市立幼稚園音楽会参加のため参加できず)
1月	子どもへの事前確認のみ行い、事前予告なしで実施 園庭に1次避難をした後、津波を想定し屋上まで2次避難

#### 【不審者】

- ・11月に不審者が来た時の子どもへの避難誘導について教職員全員で考え直し、取り組んだ。様々な想定を考えておき、教職員がその時に合わせた行動をとれるように考えておく必要を感じた。

#### 【その他（関係機関による安全指導など）】

- ・6月には、安全パトロールの方による安全指導を受けた。信号の見方や青パトについて、わかりやすく指導していただいた。
- ・東成消防署によるおもちゃ花火教室に5歳児が参加した。花火の安全な楽しみ方を教えていただくとともに、実際に花火を持って、遊び方も指導していただいた。
- ・1学期の終業式では、教師による交通安全指導を行った。教師が劇で交通ルールや安全な歩き方などを知らせ、子どもと保護者に安全啓発を行った。
- ・9月には秋の交通安全運動 東成区民大会に5歳児が参加した。保護者と一緒に交通安全に関する話も聞いて、安全に対する意識を高めることができた。
- ・10月には東成消防署見学を行った。消防署の仕事についてのDVDを見せてもらったり、消防車について話を聞いたりして、防災への意識を高めることができた。消防士やレスキュー隊の服を着せてもらい、消防署の仕事を知ったり、地域に守られていることに気付いたりすることもできた。
- ・11月には、チンドンバンドの方々から“こども110番”について教えていただいた。
- ・2月には安全パトロールの方による小学校に進学する5歳児とその保護者に対し、安全指導を行っていただく予定である。

このような結果と分析から、進捗状況をAとした。

②本年度3学期末の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

- ・いろいろな友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、4歳児、5歳児と一緒に遊んだり活動したりする機会を多くもつように努めた。環境構成を工夫したり、教師も一緒に遊びに参加し、子ども同士をつないだりすることで、異年齢の友達にも親しみをもって関わるようになった。また、活動の後には振り返りの時間を設け、自分の思いや考えを発表する

中で、友達のことを認めたり、思いに共感したりする姿が見られるようになってきた。

- ・ 4月と7月、12月に園内委員会を開き、日々子どもたちの実態を把握し支援の方法について共通理解をした。子どもたちの育ちを考え、どのような関わりが必要か考えた。また、個人懇談で聞いた家庭での子どもの様子を共有した。日々子どもの様子や変容などをこまめに伝え合い、支援方法を考えていった。園内委員会に限らず、普段から子どもの様子や変化などを伝え合い、教職員全員で情報共有や共通理解を図りながら、個々の実態に応じた効果的な支援を継続できるようにした。
- ・ 6月と10月の巡回相談では、学んだ手立てを教職員で共通理解し、多面的に子どもを見ることができた。
- ・ 療育施設を訪問し、施設内の子どもの様子や支援方法、環境づくりを知り、園での支援方法について再考し、改善していくことができた。
- ・ 運動会や生活発表会では、子ども一人一人の参加方法を教職員や保護者と話し合い、子どもの興味や得意なことを探り、活動内容に取り入れたことで友達と協力し助け合いながら参加することにつながった。
- ・ 特別支援担当者必修研修をオンラインで受講し、資料と一緒に全教職員に回覧して互いの学びとなるように努めた。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

#### 今後への改善点

- ① ・ 非常時に教職員が落ち着いて避難誘導をすることができるように、また、子どもたちが自分自身の身を守ることができるように、計画的に様々な想定避難訓練を実施していく。
- ② ・ 園内委員会を定期的実施し、一人一人の実態を共通理解する。また、目標やねらいを明確にし、指導計画、支援計画を見直すと共に、実態に応じた関わりができるようにする。
  - ・ 積極的に研修に参加し、支援方法の手立てを学び続けていく。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○本年度の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>様々な活動を通して、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられる保育を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 ・就学前教育カリキュラムを活用しながら、日々の保育計画を立てる。</p> <p>・月に1回以上、異年齢で集会遊びをし、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わえる活動を行う。</p> <p>・学期に1回、教育課程を見直す。</p>	B
<p>取組内容②【基本的方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>自分の思いを表現する楽しさを味わう子ども育てる。</p> <hr/> <p>指標 ・学期に1回以上、実践記録検討会や園内研究会を行い、学び合う機会をもつ。</p> <p>・学期に6回以上、かいたり、つくったりする活動を取り入れる。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>自分の健康に関心をもつことのできる子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標 ・毎月、健康に関する保健指導を実施する。</p> <p>・保健指導の内容について、保護者へ啓発する。</p> <p>・学期に1回、健康カレンダーを配布し、家庭との連携を図る。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>○本年度3学期末の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。</p> <p>① ・就学前教育カリキュラムを活用し、その日の保育の振り返りや次の日の保育の指標にし、日案や週案を立てた。学期末には子どもたちの遊びや活動の様子について写真掲示したり、月末には園長室だよりを発行したりして、育まれている姿を知・徳・体に分けて保護者に知らせた。</p> <p>・集会遊びでは体操やダンス、巧技台、様々な運動遊具を使ったサーキットなど、楽しんで体を動かすことができるように取り組んだ。4歳児、5歳児と一緒に遊ぶ時間を意識してもらったことで、子ども同士で教え合いながら体を動かすことを楽しむ姿が見られるように</p>

なった。

- ・10月にはレッドハリケーンズ大阪の選手の方々を招いて、ラグビー体験をさせていただいた。なかなか触ることができない楕円型のラグビーボールを転がしたり、投げたりしながら、子どもたちが楽しめる内容でいろいろな遊びを体験させていただき、いろいろなスポーツに興味や関心をもつきっかけになった。
  - ・今里小学校の運動場をお借りして、凧あげを行った。友達とぶつからないように空間を感じながら、広い運動場で思いきり走り、風の抵抗を感じながら凧あげをすることができた。
  - ・寒い中でも園庭に出て鬼ごっこをしたり、体操をしたりしながら体を動かして遊んだ。走ることによって体が温まり、意欲的に遊びを楽しむ姿が見られた。
  - ・学期ごとに教育課程を見直し、子どもの実態にあっているか確認したり、子どもの育ちにつながっているかを振り返ったりし、次学期の保育を計画できるように努めた。
- このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

○本年度3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と意思を出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

②自分の思いを表現する楽しさを味わえるように、子どもたちの興味や関心を引き出しながら保育内容を工夫した。かいたり、つくったりすることを通して、表現することを楽しんだり、友達と一緒に活動する喜びを味わったりする子どもの姿が見られた。

#### 【学び合う機会について】

- ・5月と6月に実践記録をとり、検討会を行った。自分の思いを表現することを楽しんでいる姿からどのような心の動きや育ちがあるかを読みとり、幼児理解に努めた。
- ・6月に指導要請を実施し、5歳児はマクドナルドごっこ、4歳児は大きな紙に絵をかく活動を行った。また、園内研修支援を実施し、9月には5歳児が体を動かす遊び、12月には4歳児が劇遊びで使うケーキをつくり、つくったケーキを使って表現遊びをする活動を行った。教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成についての指導を受け、今後の保育に生かしていけるよう学びを深めた。

#### 【4歳児について】

- ・生活や季節に合わせた製作や素材や画材にふれた様々な活動を楽しむことができた。デカルコマニーやはじき絵など、技法遊びへの関心も高め、不思議さや面白さを味わうことができた。
- ・運動会では、『大阪・関西万博』、作品展では、お店の並ぶ『さくらタウン』をテーマに活動を行った。遊びの中で必要なものをつくり、つくったものを使って遊ぶことを楽しんだ。みんなで作った大きなミャクミャクに愛着をもったり、友達と一緒にお店屋さんごっこを楽しんだりする姿が見られた。生活発表会では、『おともだちになってね』の絵本の劇遊びに必要な動物の家や食べ物をつくった。教師も一緒に活動に参加しながら、自分の思いを伝えたり、友達の考えに耳を傾けたりして一緒につくって遊ぶことを楽しめるようにした。

#### 【5歳児について】

- ・様々な素材を使って製作を行った。生活経験を生かしながら、イメージを広げたり、素材を取り入れ自分なりに工夫して形にしたりすることを楽しんだ。また、友達と一緒につくることの楽しさを味わった。
- ・運動会では、『忍者』、作品展では、『アラジン』をテーマに活動を行った。遊びを進める中で、友達と一緒に話し合いながら一つのものをつくり上げる達成感を味わうことができた。忍者になりきるための小道具をつくって身に付けたり、アラジンのお城や大きな絨毯を、

友達と色や形を相談し合い、協力しながらつくったりした。また、作品展でつくったものを劇遊びに使うことで、さらにお話のイメージを広げて楽しむことができた。

【4歳児・5歳児合同での活動について】

- ・4歳児、5歳児と一緒に土粘土を使って遊び、友達と一緒に感触を味わうことを楽しんだ。汚れることに抵抗を感じる子どもの姿も見られたが、友達や教師の姿から触れてみようという気持ちをもつことができた。感触に親しんだり、全身を使って楽しんだりする姿が見られた。
  - ・9月のおはなし会で、お月様のいろいろな絵本を読んでいただいたことをきっかけに、月への興味や関心が広がったため、10月の中秋の名月の日には小麦粉粘土でお月見団子をつくってお供えをした。その日はお月様が綺麗に見える日であることを子どもたちや降園連絡で保護者に知らせると、家庭でもお月見をしたという話を聞くことができた。
- このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

○本年度3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

③・毎月1回以上、健康に関する保健指導を実施した。

	さくら組（4歳児）	あやめ組（5歳児）
4月	手洗い、うがい	手洗い、うがい
5月	歯みがき	歯みがき、三色栄養
6月	熱中症	熱中症、プライベートパーツ
7月	三色栄養、早寝早起き	早寝早起き
9月	けがの防止	けがの防止
10月	和式トイレの使い方	自分の気持ちと友達の気持ち
11月	朝ごはんの役割	朝ごはんの役割
12月	病気の予防と生活習慣	病気の予防と生活習慣
1月	手洗いチェッカー	手洗いチェッカー
2月	うんちの種類	うんちの種類

- ・和式トイレの使い方の指導では、和式トイレの模型を作成し、実際に練習をしたり、手洗いの指導ではブラックライトを使った手洗いチェッカーをしたりして、子どもが楽しく参加できるようにした。子どもの実態や課題に応じた内容を設定し、視覚的教材にしかけをつくったり、子どもと一緒に考え、発言する時間を設けたりして、子どもが関心をもって取り組むことができるように工夫した。また、保健指導の実施後には教材を保健室前に掲示することで、子どもが教材で遊びながら意識が定着するようにした。
- ・実施したすべての保健指導について、ほけんだよりやホームページで保護者に内容を周知した。また、学期末に指導の様子や教材の写真を使用したドキュメンテーションを作成し、より詳しく保護者に幼稚園での取り組みを知らせることができた。
- ・6月に歯みがきカレンダー、夏休みに健康カレンダー、10月に朝ごはんカレンダー、冬休みに健康ビンゴ、1月に手洗い・うがいカレンダーを配布した。夏休みの健康カレンダーでは、1学期中に保健指導を実施した中から、手洗い・うがい、歯みがき、三色栄養、早寝早起きの4つの項目から目標を選択して取り組むようにした。冬休みの健康ビンゴでは16個の健康に関する項目を設定し、できたものに色を塗っていくつビンゴができるか楽しみながら健康な生活を意識できるようにした。いずれも配布前には子どもに保健指導を実施し、保護者には内容を周知したことで幼稚園と家庭が連携して取り組むことができた。保護者記入欄を設けたことで、家庭での様子を記入していただき、子どもの実態を知ることができた。

このような結果と分析から、進捗状況をAとした。

#### 今後への改善点

- ① ・引き続き、日々の保育が充実するように、子どもの育ちや活動の見通しを考えて保育を行っていく。
- ② ・今後も、子どもたちの興味や関心を引き出し、表現することを楽しむことができるような保育活動を行っていく。
- ③ ・引き続き、子どもにとってわかりやすく、楽しい保健指導を実施できるよう、教材研究や実態と課題の把握に努める。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>いろいろな人と関わり、親しみの気持ちをもつ。</p> <hr/> <p>指標 ・年間10回以上様々な形で地域との交流を行う。                  ・保育内容や子どもの様子を毎日、保護者に知らせる。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>○本年度3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は、地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。</p> <p>①一年を通して様々な人と関わり、優しさにふれたり、人の温かさを感じたりすることができた。また、地域に出て、歌やダンスを披露して、拍手をもらったことが子どもたちの喜びや自信になったり、地域の一員であり、地域で見守られているという意識をもったりすることができた。</p> <p><b>【地域交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回『おはなし会』を行い、季節や子どもの生活に即した絵本を読み聞かせていただいた。また、例年、夏季休業中に行っていた絵本ボランティアの方々による絵本の読み聞かせを、保育中に行うことができ、絵本に親しむこともできた。</li> <li>・更生保護女性会の方に月2回（第1・第3水曜日）、登園時の子どもたちに挨拶を下さり、子どもたちも親しみをもち、自ら挨拶をする姿が見られようになった。</li> <li>・5月より未就園児活動（ふれあいデー）が始まり、在園児と地域の未就園児と一緒に遊ぶことができた。年下の友達とのふれあいを楽しみ、ふれあいサークルばら（満3歳より）の子どもたちの保育室にも訪れて遊ぶ姿が見られた。</li> <li>・5月に5歳児が東成図書館に行き、図書館の利用の仕方を教えていただいたり、好きな本を選んで読んだり、読み聞かせをしていただいたりし、様々な絵本への興味や関心を高めることができた。</li> <li>・6月には公民館で行われているふれあいサークルに5歳児が参加した。11月には地域敬老祝賀会、12月にはウィンターフェスタにも参加した。地域の方々に子どもたちの歌声を聞いてもらったり、ダンスを見てもらったりすることができた。</li> <li>・2月には5歳児が更生保護女性会の方々にお茶席を経験させていただいた。お茶の点て方やお作法などを教えていただき、子どもたちにとって貴重な経験となった。</li> </ul> <p><b>【校種間交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児が今里小学校の5年生とのプール交流を行った。2月には1年生のクラスで給食見</li> </ul>

学、3月には授業体験をさせていただく予定で、5歳児にとって進学への不安を和らげ、期待に繋がる良い機会となっている。

- ・11月に、玉津中学校と相生中学校の生徒が職場体験を行い、子どもたちはいろいろな遊びを教えてもらった。中学生と関わる機会が少ない子どもたちにとっても良い刺激となり、中学生に親しみをもって関わる姿が見られた。

#### 【その他】

- ・4月には5歳児が南中本公園に園外散歩にでかけた。5月には西之口公園へ5歳児、4歳児が手を繋いで園外散歩にでかけた。地域の公園を活用し、園にはない遊具で遊ぶことを楽しんだ。
  - ・11月には地域の方と一緒に、西之口公園清掃を行った。いつも遊んでいる公園を自分たちの手できれいにすることができ、満足感と充実感を味わうと共に、いつもきれいにしてくださっている方がいることを知り、感謝の気持ちをもつことができた。
  - ・レッドハリケーンズ大阪の選手の方々にラグビーボールを使った様々な遊びを教えていただいた。子どもたちからの質問にも答えてくださり、選手の方々に親しむことができた。
  - ・PTA主催で、6月にふれあいレクリエーションを行った。4歳児、5歳児と保護者が一緒に様々なゲームを行い遊ぶことを楽しんだ。12月には楽学園でピアノ、サクソフーン、トロンボーンを使って演奏をしていただき、癒しのひとときとなった。また、2月にはLaQ教室を実施し、LaQを使って子どもと一緒にふれあう時間をもつことができた。年間を通して、保護者も一緒に楽しめる行事を計画することができた。
  - ・様々な行事や保育の中での、子どもの様子や育ちをその日の降園時に丁寧に伝え、家庭連携し、子どもの成長につながるように共有した。
- このような結果と分析から、進捗状況をAとした。

#### 今後への改善点

- ・子どもたちが地域の一員であるという意識をもてるように、今後も地域と連携をとって交流を重ねていく。
- ・広く自園の活動を知ってもらえるように発信方法を工夫する。

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立今里幼稚園 学校協議会

## 1 総括についての評価

- ・保護者アンケートの結果について、肯定的な回答が占めており、保護者も幼稚園教育への理解があることが分かった。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安心・安全な教育の推進】

- 本年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」の回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで、「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」の回答する保護者の割合を90%以上にする。

- ・避難訓練だけでなく、地域の火災や地震が起きた時に、自分事として考えられるように意識を高めてもらいたい。
- ・いろいろな子どもがいるので、それぞれの良さを理解し、認め合ってほしいと思う。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 本年度の保護者アンケートで、「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と意思を出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

- ・友達の刺激を受け、いろいろなことに挑戦するようになった。できなくても諦めず、やってみようという気持ちが育っていると思う。
- ・日頃の保育の積み重ねで、自分の思いを自分なりに話そうとするようになったと感じる。自分の思いをしっかりと自分の言葉で伝えられるようになり、友達の話にも関心をもって聞けるようになったと思う。
- ・幼稚園で行われた保健指導を、家庭でも意識して取り組んでいる子どもの姿が見られた。内容を理解し、子ども自身がその大切さを感じていると思う。

## 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- 本年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。

- ・地域との交流について充実していて、地域行事参加は土曜日や日曜日に実施されるので、父親も参加することができ、幼稚園の取り組みや子どもの様子を見る機会になっていて、嬉しく思った。
- ・少しでも小学校進学への不安が和らぐように、日頃から、小学校の運動場を活用してもらったり、児童との交流を行ったりして、連携していきたい。交流を重ねることで、児童からも幼稚園児を招待したいという声も出てきており、小学生にとっても成長につながっていると感じている。

## 3 今後の幼稚園の運営についての意見

- ・幼稚園の楽しかった経験は大人になっても覚えていることが多い。大人になった時に生きてくると思うので、子どもたちに様々な経験ができるように努めてもらいたい。
- ・来年度以降も少人数でもできることを考え、工夫して保育を行って欲しい。
- ・保護者アンケートの結果について、全園児で割合が出されているが、4歳児・5歳児でどのような割合なのか分析すると、新たな気付きがあるのではないか。